

# 令和4年度 江別市立病院 決算概要と経営再建への取り組み

詳細 市立病院管理課財務係  
☎ 382-5151

## ▼決算概要

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の「重点医療機関」として、陽性者の受け入れや発熱外来などの対応に努めました。

入院患者数は前年度を下回ったものの、さまざまな経営改善の取り組みにより診療単価が上昇し、外来では新型コロナウイルス感染症の第7、8波により発熱外来受診者が増加したことにより、患者数が前年度から6527人増加しました。

これらの要因やコロナ関連補助金の増により、病院事業収益全体では前年度から約7億5200万円の増収となりました。

費用面では、感染症対策に伴う診療材料費、物価高騰の影響による光熱水費や燃料費などが増加しました。これらの要因により、病院事業費全体では前年度から約3億7600万円の増加となりました。

## ▼経営再建への取り組み

りました。

市立病院では、組織運営の自律性や柔軟性を高め、院内のガバナンスを強化しながら病院職員一体となって経営再建を進めるため、令和4年4月から地方公営企業法の全部適用に移行しました。新たに着任した病院事業管理者の下で、職員の意欲と元気を引き出す資格取得支援や企画提案型のプロジェクトを立ち上げるなど、経営改善の機運をさらに高める工夫を行いながら、令和3年3月に策定した「江別市立病院経営再建計画（ロードマップ2023）」に基づき、計画最終年度である令和5年度での収支均衡に向けて、さまざまな取り組みを行いました。

最重要課題である診療体制の整備については、長い間1名体制であった耳鼻いんこう科の医師が2名体制になった

ほか、医師の負担軽減と救急患者の市内応需率向上を目的とする内科系2次救急輪番制の構築のため、医師会や市内医療機関との協議を進めました。また、医育大学との関係性強化に向けて、先進的な共同研究に関する協議を重ね、その実現に道筋をつけるなど、取り組みを進めました。

さらに、健診センターでは健診システムの導入や高機能肺ドックといった健診メニューの開発により利用者増に努めたほか、ホームページの全面改修により、診療情報や医師をはじめとする採用情報を充実させるなど積極的な情報発信に努めました。

は5類へ移行となりましたが、引き続き感染対策を徹底しながら、市民および近隣住民の皆さんに安全・安心な医療を提供できるよう、病院事業管理者の下、職員一丸となって経営改善の取り組みを着実に進めてまいります。

## 令和4年度決算と前年度との比較

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減
病院事業収益	75億1,300万円	67億6,100万円	7億5,200万円
病院事業費用	69億6,200万円	65億8,600万円	3億7,600万円
単年度純損益	5億5,100万円	1億7,500万円	3億7,600万円

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減
一般会計繰入金	14億6,800万円	15億1,400万円	△4,600万円
通常分	14億1,800万円	15億1,400万円	△9,600万円
新型コロナウイルス対策分	5,000万円	なし	皆増
一般会計長期借入金	なし	なし	-
累積欠損金	△3億1,500万円	△117億3,300万	△114億1,800万円
不良債務残高	3億6,200万円	4億5,900万円	△9,700万円
一般会計長期借入金残高	22億7,600万円	22億7,600万円	-

令和4年度の繰入金は経営再建支援補助金分が皆減したことなどにより、前年度より4,600万円減少しています。  
※令和3年度の一般会計繰入金通常分に、医師確保対策にかかる経営再建支援補助金として7,100万円が含まれています。  
※令和3年度に減資を実施したため、令和4年度期首の累積欠損金は8億6,600万円です。

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減	
延患者数	入院 (174.9人/日)	65,679人 (179.9人/日)	△1,837人 (△5.0人/日)	
	外来 (570.5人/日)	132,107人 (545.9人/日)	6,527人 (24.6人/日)	
病床利用率	一般	67.3%	68.0%	△0.7ポイント
	精神	56.3%	74.6%	△18.3ポイント
	全体	65.5%	68.9%	△3.4ポイント

【病床利用率は休止病床を除いて計算しています】

※ 令和2年4月から一般病床224床（△13床）、精神病床37床（△12床）

※ 令和4年4月から一般病床224床（△13床）、精神病床43床（+6床）

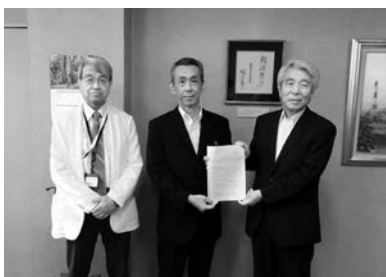
# 江別市立病院経営評価委員会が 令和4年度 点検・評価に関する意見書を提出しました

【詳細】市立病院経営推進担当 ☎ 382-5151

市では、市立病院の経営再建を着実に推進するため、外部委員により構成される「江別市立病院経営評価委員会」を設置し、経営再建の進捗状況について点検・評価を受けています。

8月22日(火)に、経営評価委員会から後藤好人市長へ点検・評価に関する意見書が手渡されました。

意見書の詳細については市立病院ホームページをご覧ください。



## ▼ 経営再建の進捗状況に対する評価

個別項目の評価	① 市立病院が担うべき医療の重点化	B
	② 診療体制の確立	B
	③ 経営体制の構築	B
	④ 一般会計による公費負担の適正化及び財務基盤の強化	B
	⑤ 広報活動の充実	B
総合評価		B

※ 進捗状況の評価基準

[A] 予定以上、[B] 概ね予定どおり、[C] 予定よりやや遅れ、  
[D] 予定よりかなり遅れ

## 市立病院 連載コラム 経営再建の軌跡

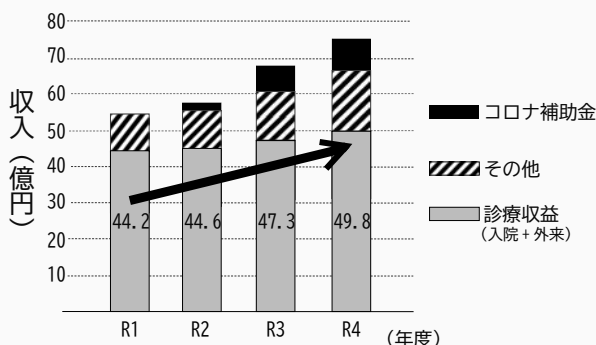
### 第7回 数字で見る集中改革期間

経営再建計画に基づき、令和5年度に収支均衡を実現するため、令和2～4年度の3カ年を集中改革期間として、収益向上や費用削減につながる取り組みを進めてきました。

取り組み内容については過去にご紹介してきましたので、今回は実際に数字にどう表れているのかをお伝えします。

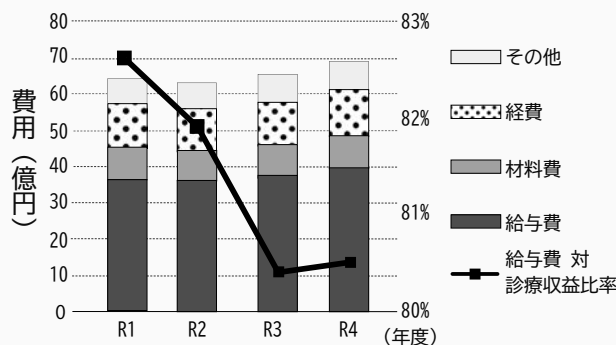
#### ◆収入の推移

令和3～4年度は、新型コロナウイルス感染症対応に関連する補助金収入も含んでの黒字化達成となりましたが、入院収益・外来収益も着実に増加しています。これらは日中の救急車受け入れを積極的に行っているほか、DPC制度の効果的な運用により収入が順調に伸びてきたことなどが要因として挙げられます。今後も感染症対応と並行して、担うべき医療の重点化を進めていきます。



#### ◆費用の推移

診療収益に対する費用割合を見ると、給与費対診療収益比率が下がっています。これは収益に見合った人件費に近づけられるよう、看護師を中心に人員配置を工夫してきた成果だと考えています。材料費と経費は削減の取り組みを継続していますが、令和4年度から続く物価高騰などの社会情勢の変化もあり、さらなる対策を検討する必要があります。



経営再建計画最終年度の令和5年度に収支均衡を達成するため、経営改善への取り組みを進めてまいります。